

～今後の決算もオフィスで行いますか？～

リモートワークを実現する決算事務における自動照合と自動レポーティング

オラクルは、クラウドを中心に企業向けに様々なソリューションを提供する企業です。かつて、データベース中心だったソリューションの幅を拡大し、現在では、クラウドを中心に、データ活用を支援する企業へと変革を遂げています。今年からは、インダストリーにフォーカスし、業界の特性に合わせて、適切なソリューションを提供することを目指しています。



金融業界におけるオラクルの位置付け

オラクルは、金融業界向けのソリューション開発を適切に行うため、金融業界に特化した製品企画・開発を行う組織があります。金融規制動向や業界動向などをグローバルで研究し、どの企業よりも早く製品開発・販売に結びつける体制を整えています。特に、コアバンキング領域や経営管理領域（リスク管理など）では、グローバルでも高いシェアを誇り、1万人を超える要員が従事しています。これらの金融特化型と連携する形で、ERPや人事管理、顧客管理領域でのソリューションを提供し、金融機関の全ての領域でご活用いただけるものを提供しています。特に、ERP領域では、多くのユーザーにご活用いただき、国内の大手金融機関の8割以上にご活用いただいている状況です。

AGILE FINANCE AND RISK / ソリューションラインナップ

オラクルは、金融機関様向けに Agile Finance and Risk という経営管理コンセプトを紹介しています。金融機関の複雑なデータソースを一元化し、金融規制対応や一般会計レポートなどを自動化することを目指しています。

グループ・グローバルシェアードサービス	デイリークローズ 日次経営管理
リモートワーク 購買管理・経費精算	プロジェクト管理・IT 予算管理
IFRS 対応 - IFRS9号、IFRS17号	自動照合
	サブスクリプションマネジメント

AFTER COVID-19 がもたらす決算遅延リスクへの対応と新しい働き方

2020年度の決算処理において、COVID-19による在宅勤務を余儀なくされ、経理財務部門の皆さまにとっては非常に難しい状況ではなかったでしょうか。自社だけでなく監査におけるコミュニケーションにおいても時間を要し、多くのExcelやメール、電話を駆使した実務だったと推察しております。

現在、多くの金融機関では次のリスクに備え、部門を越えた、場所を選ばない決算事務改革が急速に進んでおります。新しい技術は新しい働き方を提供し、決算業務においてもデジタル化に取り組むべき時期が到来しました。

オラクルでは決算実務における手作業を完全に排除し、「自動照合」と「自動レポーティング」を実現します。今後、更にIFRS対応による注記を含めた実務量の増加が見込まれ、今こそ将来に向けたDXへの変革のチャンスであると考えております。

オラクルの自動照合・自動レポーティング導入による効果

オラクルのソリューションにより、決算準備における最も負荷の高い照合業務を自動化します。

例) 財務データ、有価証券データ、人事データ、償却引当等の各システム間を自動照合。

また、照合・集約されたデータから着地予想資料やセグメント別分析資料、BSやPLを含む開示資料の全てを自動で作成します。

オラクルの自動照合と自動レポーティング

- ・照合ルールに準じた残高、明細レベルでの自動照合
- ・連結時における会社間取引の自動照合
- ・内外の報告資料の一元管理、自動作成
- ・ワークフローによるデータ収集と承認者の適切なレビュー

オラクルの事例・実績

オラクルは、大手金融機関に置いて多数の実績がありますが、グローバルでは急速に導入が進んでおり、国内においてもCOVID-19をきっかけに50社以上のお問合せをいただいております。オラクルは財務会計・管理会計まで含むバックオフィス全体のソリューション全体を持っており、1つのソリューションで全てのデジタル化を実現します。

*OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。 Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

日本オラクル株式会社 〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8 オラクル青山センター oracle.com/jp

お問い合わせ窓口



TEL 0120-155-096

受付時間 月～金 9:00-12:00/13:00-17:00 (祝日および年末年始休業日を除きます)

URL oracle.com/jp/contact-us

